



ご挨拶

町立西和賀さわうち病院
院長・医療福祉連携室長
北村 道彦

医療福祉連携室だより第10号をお届けします。平成27年度に入り、早4ヵ月が過ぎ、4半期の入院患者統計が出ました。平均稼働病床数は7割ほどで、目標の6割をクリアしています。昨年度は4割でしたので大きく前進しています。これもひとえに連携先の施設の皆様のご支援によるところであります。心から御礼申し上げますとともに、引き続きのご支援、ご協力をお願いいたします。

本連携だよりとしては、まず、介護保険を用いた訪問リハビリテーションの紹介があります。高齢者が多く、医療機関までのアクセスの長い当地では潜在的なニーズが高いと感じております。沢山のご紹介をお待ちしております。次に、院内で施行中のBLS講習会を取り上げました。院内の急変事例に適切に対応出来るよう今年度は5回開催し、全スタッフの受講を目指します。リハビリテーション科での学生実習や西和賀高校の職場体験の記事もあります。我々医療者の使命の一つとして後輩の育成があります。これからも学生実習や職場体験学習には病院を挙げて取り組みます。お陰さまで外来予約制は順調に動いております。7月から皮膚科に関しても予約制を導入しましたのでよろしくお願い申し上げます。終わりに、4月から事務長補佐として、前岩手県立中部病院事務局長及川秀さんを迎えました。病院管理のベテランとして早速力を発揮してもらっております。

暑い日が続きます。どうぞご自愛なさってください。



及川秀事務長補佐の紹介

町立西和賀さわうち病院
事務長 高橋 光世

及川秀事務長補佐は4月から勤務しています。3月まで県立中部病院の事務局長をしていたことから、事務全般に精通しており、新任事務長にとっては大いに頼りになる存在で、毎日助けられています。自宅は奥州市江刺区で、毎日高速道路を利用して通勤していますが、交通事故には充分注意してもらいたいと思いますし、難儀をかけますが、どうかご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

皮膚科外来は予約をお願いします

7月1日より、皮膚科外来は予約制になりましたのでご注意ください。診察の予約・変更は、月～金の午後の時間内に、お願いします。TEL0197-85-3131（代表）

診療科	診療日	受付時間
皮膚科	第2・第4金曜日	午前8:00～午前11:30
		午後1:00～午後4:00

さわうち病院リハビリテーション科の紹介

さわうち病院でのリハビリテーション実習



今回の臨床実習では町立西和賀さわうち病院で、地域密着医療について多くのことを学ばせていただきました。外来患者さんが多いこの地域で患者さんの生活を第一に考えたリハビリの展開・在宅復帰までを考えることができました。病院のスタッフだけでなく、患者さんもすごく温かい西和賀で実習をすることができて、とても良かったです。今後も実習で学んだことを生かし、自身のさらなるレベルアップ、そして患者さんが満足する治療として還元できるように頑張ります。

岩手リハビリテーション学院 理学療法科 3年 泉谷 尚哉

仙台の東北文化学園大学から臨床実習で来ました、清野大地です。先生方が関わりやすく、楽しく実習を進めることができています。また、親身になって教えていただけて多くのことを学び、大変良い経験をさせていただいています。病院以外で、院長先生と登山をしたことにより登山が好きになったので、道具一式揃えたいと思います。残りの実習も患者さんがよい良い生活を送るため、力になれるように頑張りたいです。

東北文化学園大学 4年 実習生 清野 大地

さわうち病院訪問リハビリの紹介



いつもたいへんお世話になっております。要支援～要介護の方を対象に、担当者1名が主に平日の午後に訪問しております。現在利用者の数は一ヶ月、約15名です。西和賀町内であれば、どちらにでも訪問しております。利用者の身体機能・能力等を踏まえて、住宅環境に適応して生活できるように、ケアマネージャーや他サービスの方々と協力しながらサポートするように努めています。今後の課題は訪問リハビリ終了後のサービスとの連携をさらに緊密にして、利用者の活動・参加を促していくことです。これについては当院で開始した通所リハビリテーションや、他サービスへのスムーズな移行が必要になります。

厳しい気象条件の時でも（豪雪期はちょっと遅れるかも知れませんが）、訪問させていただきますので、西和賀町内の対象となる方がおられましたら、ご紹介をお願いいたします。今後ともよろしくお願い申し上げます。

理学療法士 金子 和馬

BLS講習会開催



心肺停止の傷病者を救命し社会復帰に導くための要素として「救命の連鎖」という言葉が使われることがあり、以下の4要素があります。

1 心停止の予防、2 早期認識と通報、3 一次救命処置（BLS）、4 二次救命処置（ALS）と心拍再開後の集中治療

院外発生事例において、バイスタンダー(居合わせた人)によりBLSが施行され救急隊現着前に心拍再開に至った場合、社会復帰率は非常に良好で80%とも言われています。逆に病院搬送後ALS施行にて心拍再開した事例においては、残念ながらほとんど社会復帰できていないのが現状のようです。したがって上記4要素の中でもとりわけBLSが重要です。

当院でも今年度から職員を対象にBLS講習会を開始しました。講習内容はBLSの幹である「質の高い胸骨圧迫(心臓マッサージ)」および「AED(自動体外式除細動器)の適切な使用」を重点的に行っています。各回15人程度、計5回開催により医療職以外の職員を含め原則全職員が受講することになっています。毎回、西和賀消防から応援を頂いており、消防署職員と当院職員の顔の見える関係化にも役立っています。

院内発生事例はもとより当院職員が院外においても家族、友人あるいはたまたま居合わせた人の突然の心停止に遭遇した時、ためらうことなく積極的に対応できることを目標にしています。また講習で得た知識やスキルを家族や友人に伝達すること、さらにはそのことによって興味を持った人たちが地域の消防署などが行う講習会に参加するきっかけになれば、地域内でのBLS普及にもつながります。

講習内容等について検討を重ねながら、来年度以降も継続していく予定です。

町立西和賀さわうち病院 副院長 須原 誠

今年度から開催している、須原誠副院長主催の院内BLS講習会をサポートしております。参加者からは『訓練をしないと急に出来るものではないので、参加してよかった。自信を持って実施できる。』等の感想をいただきました。

院内講習会を継続していくためにも、サポーターとして、BLSの知識・技術の向上を図っていききたいと思います。

院内BLS講習会担当 外来看護師 高橋 良枝

BLS講習は以前にも受講したことがありますが、忘れていたことが多く、定着できるように継続して学ぶことが必要と感じました。一つ一つ動作をご指導いただき、より実践的に学ぶことができました。

今回の研修を活かす機会があれば、率先して動きたいと思います。

受講者 歯科衛生士 石川 千鶴

西和賀高校「職場体験」学習を終了して

総括看護師長補佐 菊池 たみ子

去る6月30日（火）～7月2日（木）の3日間にわたり西和賀高校2学年の生徒（10名）による「職場体験」学習を実施しました。インターンシップ受け入れ要請時には最大8名と返事をしていましたが高校の担当教師から、病院の希望者が多く調整して10名になりましたと連絡がありました。

「来る人は拒まず」の精神で、スケジュール作成のため各部門へ時間の調整依頼、白衣の準備等に奮闘し当日を迎えました。高校生が10名ともなると元気と若さに圧倒されましたが、スケジュール通り進めることができました。

体験中は笑顔が絶えることなく楽しんで取り組んでいました。最終日の反省会では、
①自分が就きたい職業は、理学療法士だが今回の体験で歯科衛生士・技工士もいいなあと思った。
②医療系の仕事に就きたいと漠然と考えていた。看護師という名前だけは知っていたが、どんな仕事をするのかが分からなかった。今回の体験でよく理解することができた。でも、レントゲン技師・検査技師にも心惹かれた。等いろいろな感想を述べていました。

企画者としては、今まで漠然と考えていたことが各部門の担当者からの説明で色々な職業があることも理解でき、自分の将来を真剣に考える機会となったのではないかと感じました。

学校での基礎教育をしっかり学び、輝かしい未来の自分を育ててほしいと心からエールを送りたいと思います。

体験時のスナップ写真



編集後記

雪国と言われている西和賀町も、さすがに毎日暑い日が続いております。

先日、銀河高原の雪まつりへ出かけました。冬は雪が苦手な私も、季節はずれの冷たい雪に触れることができ、子供達と一緒につい喜んでしまいました。

まだまだ暑い日が続くと思いますが、熱中症には気を付けて、残り少ない西和賀の夏を楽しみながら乗りきりたいと思います。

医療福祉連携室 藤田

町立西和賀さわうち病院 医療福祉連携室担当 村田 純子 高橋 豊宏
〒029-5612 岩手県和賀郡西和賀町沢内字大野13-3-12
TEL:0197-85-3131 FAX:0197-85-3135 E-mail:murata7135@town.nishiwaga.lg.jp